

宮城県米づくり推進基本方針（令和8年度～令和12年度）

1 趣旨

本県の稲作は、主力品種の「ひとめぼれ」をはじめ、「つや姫」「ササニシキ」「だて正夢」「金のいぶき」などの良食味米が生産され、米の主産県として、家庭用・業務用等の様々なニーズに対応する『みやぎ米』を全国に供給してきた。

一方で、人口減少や高齢化に伴い、国内の食料消費は今後更に減少すると予測され、主食用米の国内需要も減少すると見込まれている。さらに、肥料など生産資材等の価格高騰、農家数の減少や生産現場の人手不足、地球温暖化等の気候変動に伴う米の品質低下や新たな病害虫の発生、自然災害の激甚化・頻発化など、将来にわたり米の生産を持続可能なものとするためには、こうした様々な課題への対応が必要である。

このような中、県では、第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画（以下「基本計画」という。）において、気候変動に対応した新品種の導入や作期分散等の高温対策技術の推進、消費者・実需者のニーズに対応した米生産、多収品種や直播栽培等の推進による生産コストの低減、環境に配慮した栽培方法の推進等により、みやぎ米の更なる振興を図ることとしている。

この基本方針は、基本計画に掲げる「豊かな食・儲ける農業・活力ある農村」の将来像の実現に向けて、県及び市町村並びに農業関係機関・団体が緊密な連携のもと、本県の米づくりにおいて高品質・良食味米の生産・流通を図るため取り組むべき事項を定めるものである。

2 推進期間

令和8年度～令和12年度（5か年）

3 推進主体

宮城県米づくり推進本部

4 推進基本方針【関連する基本計画の施策※】

- (1) 気候変動に対応した米づくり【施策6・8】
- (2) 需要に応じた米づくりと収益力・販売力の強化【施策2・8】
- (3) 先進技術等を活用した米づくりの効率化と高度化【施策6】
- (4) 環境との調和に配慮した安全・安心な米づくり【施策3・4】
- (5) みやぎ米への理解と地産地消の促進【施策1】

※参考：関連する第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画の施策

- | | |
|-----|-----------------------------|
| 施策1 | 県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進 |
| 施策2 | 市場ニーズの変化に対応する県産食品の販売力強化 |
| 施策3 | 県民への安全・安心な食料の安定供給 |
| 施策4 | 環境との調和に配慮した持続可能な農業の推進 |
| 施策6 | 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化 |
| 施策8 | 需要に応じた米生産と水田農業の収益力強化 |

5 推進事項

(1) 気候変動に対応した米づくり

- ① 高温登熟耐性等に優れる品種の導入・普及推進
- ② 高温登熟を回避するための晩期栽培や直播栽培等の推進
- ③ 堆肥等の施用による土づくりや葉色診断に基づく追肥の推進
- ④ 出穂期前後の地温上昇を抑制する水管理（飽水管理）の推進
- ⑤ 適期刈取の励行による品質低下防止

(2) 需要に応じた米づくりと収益力・販売力の強化

- ① 需要に応じた米づくりの推進
- ② 業務用米など実需と結びついた米づくりの拡大
- ③ 種子計画に基づく優良種子の安定生産・供給
- ④ みやぎ米のブランド化推進による国内外への販路拡大

(3) 先進技術等を活用した米づくりの効率化と高度化

- ① 生産性向上のためのスマート農業の推進
- ② 時代のニーズに対応した生産技術の開発と現地普及

(4) 環境との調和に配慮した安全・安心な米づくり

- ① 環境負荷低減に向けた米づくりの取組推進
- ② 国際水準GAP導入の推進
- ③ 農薬の適正使用の徹底
- ④ 土壌由来リスク対策の推進

(5) みやぎ米への理解と地産地消の促進

- ① 様々な体験等を通じたみやぎ米に対する理解促進
- ② 飲食店等におけるみやぎ米の利用促進

宮城県米づくり推進基本方針（令和8年度～令和12年度）における推進目標

（1）気候変動に対応した米づくり

項目	現況（基準年）	目標（令和12年）
高温登熟耐性品種の作付面積	5,919ha（R7）	12,000ha
作付面積（平坦部）に占める晩期栽培取組面積	17,220ha（R7）	23,000ha
直播栽培面積	4,333ha（R6）	7,000ha
うるち玄米の1等米比率	90.3%（R6）	90%以上

（2）需要に応じた米づくりと収益力・販売力の強化

項目	現況（基準年）	目標（令和12年）
農業産出額（米）	1,309億円（R6）	920億円以上
輸出用米の取組面積	815ha（R7）	1,300ha

（3）先進技術等を活用した米づくりの効率化と高度化

項目	現況（基準年）	目標（令和12年）
土地利用型農業法人（80ha以上）のスマート農業導入者数	65経営体（R6）	80経営体

（4）環境との調和に配慮した安全・安心な米づくり

項目	現況（基準年）	目標（令和12年）
有機JAS取組面積（田）	365ha（R6）	470ha
学校給食米の提供数量に占める環境保全米の割合	85%（R6）	90%

（5）みやぎ米への理解と地産地消の促進

項目	現況（基準年）	目標（令和12年）
おいしい”宮城米”米飯提供店数	324店（R6）	400店